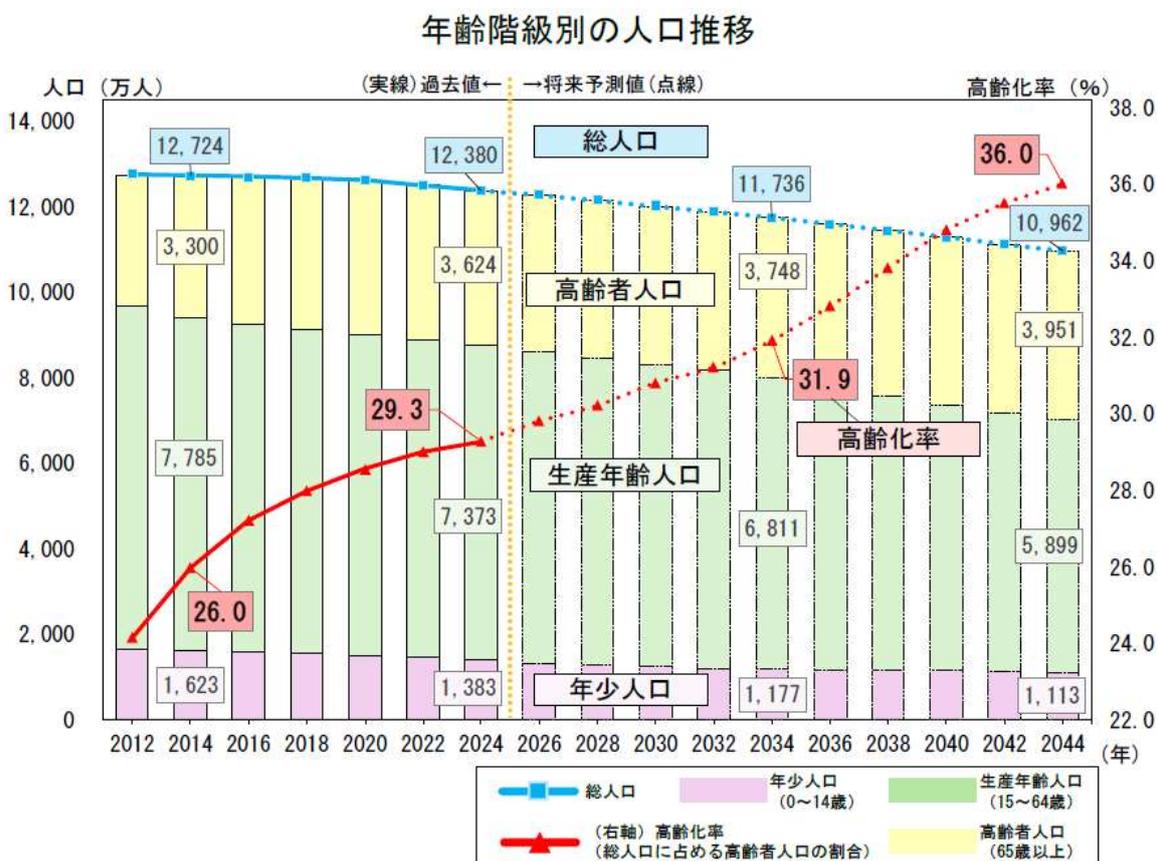


1 国の動向（「地方創生 2.0 基本構想」より一部抜粋）

日本の人口は、平成 20 年（2008 年）をピークに減少局面に入っており、令和 6 年（2024 年）10 月 1 日現在、約 1 億 2,400 万人と、平成 26 年（2014 年）の人口推計（約 1 億 2,700 万人）から 10 年間で約 340 万人減少しており、この間、生産年齢人口の減少と高齢化の進行が続いている。

また、将来の予測においても徐々に人口が減少し、令和 26 年（2044 年）には約 1 億 1,000 万人となる見通しとなっている。

【人口推移及び将来推計】



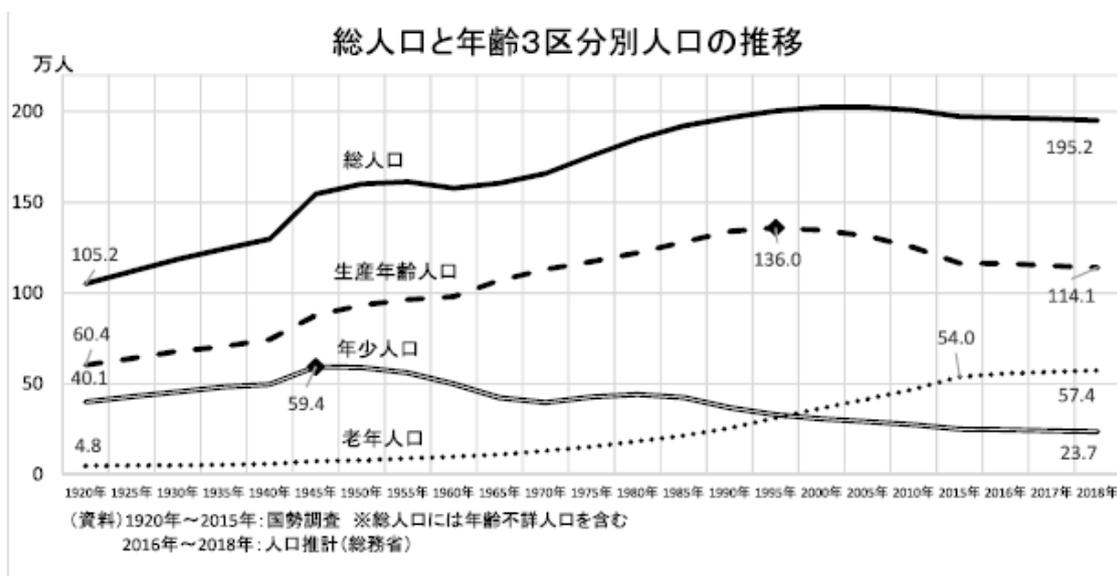
2 県の動向（「群馬県デジタル田園都市構想総合戦略」より一部抜粋）

群馬県における人口は、1970年代以降大きく増加し、200万人に達してから、2000年代をピークに減少に転じ、現在まで減少が続いている。

年齢3区分別人口をみると、年少人口及び生産年齢人口は減少しているが、老年人口は増加を続けている。

また、将来の人口については、国立社会保障・人口問題研究所の推計に基づく算出によると、加速度的に減少し、令和42年（2060年）には約129万人となる見込みである。

【人口の推移】



出典：群馬県デジタル田園都市構想総合戦略

【将来推計】

